

第二十二回 国指定名勝楽山園投句会入選作品

季節『冬』

期間 令和元年十一月一日～令和二年一月三十一日

選者 高橋洋一（群馬県俳句作家協会顧問・俳誌「絹」主宰）

一般の部

賞	作品	住所	氏名
最優秀賞	楽山園の垣に笹鳴光を編む	下仁田町	堀越 静子
優秀賞	一塊の寒雲横切る御殿池	富岡市	市川 とく江
優秀賞	閑かさや淑氣満ちるる楽山園	藤岡市	黒澤 蓮子
優秀賞	借景の遠のく山の眠りかな	東京都 新宿区	横山 雄樹
入選	懐かしき母に会えたよいろりばた	安中市	大手 良子
入選	枯色の楽山園の風情かな	高崎市	原 訓久
入選	古井戸に山茶花ひらり城下町	藤岡市	工藤 富恵
入選	楽山園枯れても情緒ゆたかなる	前橋市	原 百合子
入選	冬麗の三山遠く眺めけり	高崎市	高山 直宏
入選	山茶花や古井を守る城下町	富岡市	飯塚 昭子

こどもの部

賞	作品	住所	氏名
特別賞	冬の蝶上へ上へととびたつた	高崎市	坂本 智洋